

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 2月 26日

事業所名 ともしびの家 -MOROE-

保護者等数/27世帯(児童数/28名) 回収数/26枚 割合/96%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	92%	4%		4%		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	69%	8%		23%		厚生労働省が定める人員配置基準を満たした運営を行っています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	62%	12%		26%		利用者様のニーズに応じて、バリアフリーの配慮を行っています。現在スロープ等の配置はしていませんが、随時ニーズに応じて対応します。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	92%	4%	4%			
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	88%	8%		4%	子どもが楽しめるような体験プログラムとなっており、満足している。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	23%	8%	8%	61%	毎日利用しているわけではないので、そういった機会があるのか分からない。	交流の機会は設定しておりませんが、今後必要に応じて同法人内のフリースクール生徒との交流を検討していきます。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	92%	4%	4%			
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	96%		4%			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	23%	15%	15%	47%		感染症の流行以降、保護者会や親子イベントについてはどのような形で行うか検討していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	73%	12%		15%		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	92%	4%	4%		LINEを活用した連絡方法で、常に迅速なやり取りができています。	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	100%					
	14 個人情報に十分注意しているか	100%					
非常時等	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	92%	8%			こまめにLINEを通じて保護者へ通知をもらえるので、助かっている。	

守 の 対 応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	96%	4%				
満 足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	84%	8%	4%	4%		
	18	事業所の支援に満足しているか	84%	12%		4%		

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。